

デジタル経理スキルを獲得することで県内女性のキャリアの選択肢を増やし、多様な働き方を自らの手でつかむ



採択事業者名 株式会社Cuel

コンソーシアム構成員 愛媛デジ女プロジェクト | 税理士法人 丸木会計事務所

■事業概要

目的

デジタル化が進み、高度化が進む経理業界において、経理判断における付加価値を生み出せる経理パーソンを育成し、愛媛県内でワークライフバランスを守るためのキャリアアップを目指す

課題

愛媛県内(地方)では、旧来からのジェンダーロールが固定化されやすい傾向がある。これは男性から見た女性に限ったことではなく、女性自身もこのジェンダーロールを持っている傾向がある。

その結果
 ・選択肢が限定的になる
 ・低賃金・働き方が限定されるという状況が生まれやすくスキルアップの機会を享受することが難しい。



解決策

公認会計士、現役経理によるオンライン授業・FB、わからないことをわからないといえるコミュニティを通じて、チームで支えあい、学びあう。

経理＝仕訳ではない、実務検定により、現場に通常する実務力がついているかを定量評価。一定以上の評価のメンバーにおいてはCuelより、お仕事を紹介し、キャリアアップに繋げる



取り組み内容

経理初級/中級の動画閲覧および課題提出、公認会計士による週に1度のオン/オフライン授業を実施。仕訳以外の経理の周辺業務を含めた卒業検定や会計ソフトfreeeのリアル勉強会を通じて実務力を育成。

さらにリモートワークのイメージをインストールするスキルアップイベント・働き方の選択肢を広げる個別キャリア面談を並行して開催。



検証項目

- ・学習進捗率(動画閲覧完了率・課題提出率)
- ・スキル習得率(卒業検定正答率)
- ・キャリアへの意識の変化
- ・デジタル環境での就業への意識の変化率
- ・年収の変化率

これらを測定し、デジタル経理としてのキャリアアップの下地を育む



■成果と今後

成果 (含む想定)

会計の専門知識とデジタルツールの活用、リモートワークの可能性を自らに紐づけることで、「ありたいキャリア」を実現。愛媛に住みながら都内企業の仕事設けられるスキルを養い続け、キャリアアップを図る

実装前

実装後(～今年度)

今後3年

定量面	金額	-	・年収増加総額 100万円以上	・年収増加総額 7000万円以上
	重要指標	・キャリアアップ (年収UP者数=スキルアップ数 =選択肢の増加) ・リモートワークの解像度	初年度 ・キャリアアップ70%(7名) ・リモートワークの解像度 85%UP (できそうだと思えた)	卒業率：80% フリーランス移行率：60% 現職キャリアアップ率：10% (キャリアアップ率70%を維持)
定性面		・子育てと両立できる働き方の選択肢が少ない、持つきっかけがない ・愛媛に住み続けたいが収入面で妥協するしかない ・所得を上げる選択肢がなく、悔しさを感じている 人生における選択肢が少なく、諦めやもどかしさを感じてる方が多い。	・学習期間中に3名のキャリアアップが実現。収入面への諦めが減り、子育てとの両立が叶ってきている。 【生徒実績】 BEFORE シングルマザーとして子育てをしながら働くことに収入面やワークライフバランス面で不安や悩みを抱えていた。 AFTER 学習スキルを活かしリモートワークが実現。収入もアップしいきいきとキャリアを積むロールモデルへ。	・今回の10名をロールモデルとし、勉強会の開催や本事業のアシスタントとして稼働。さらにリモートでの就業により、都心部とそんなスキルを会得。自らの選択肢のみならず、誰かの選択肢を増やせる人に。

次年度以降の実装計画/見立て

- 人：今期の10名については、現職でやむを得ない事業がある場合を除き、70%が年収アップという形でキャリアアップ率70%を達成。月2~3万円程度の副業をもとにした数字のため、月10万円程度は十分に目指すことができる。
- 環境：「人」がいくら変わってもそのスキルを活かす先が増えていかないと、人の県外流出は十分に考えられ、地域全体としてのデジタル化の速度は遅い。次年度以降は人のスキルの最大化を図る意味でも環境側の変化が必要。